

## 安全・安心プロダクツ

昨今、防犯カメラが犯人特定決め手となった事件が増えている。防犯意識の高まりからカメラの設置場所が増えてきたことが背景にある。一方で導入費用やメンテナンス費が高く、自治体などが重点的に取り組む地域をのぞいて網羅的に設置するのは難しい。「高性能なカメラより、必要な機能だけを搭載したカメラを多く設置する方が防犯につながる」とプロテック（広島県福山市、084・943・6444）の永井健三社長は話す。

プロテックは、安価な防犯カメラ「安視ん君一写真」を展開している。カメラと記録装置を一体化した製品で、データは必要な場合に個々のカメラから収集する。記録容量は、16ギガのSDカードで、10日分。犯罪抑止と事後対策に焦点を当てた。

カメラを独立運用するため、複雑な配線が



不要で設置が容易。移設も簡単にできる。離れた場所で録画する防犯カメラは通信回線で結ぶため、自治体に道路占用料を支払わなければならないが、こうしたランニングコ

## 防犯カメラ プロテック

ストもかからない。

10月に発売したモデルは本体に記録したデータを無線LANでパソコンにコピーできる。従来機はデータ通信機器を人の手が届く高さに設置していたが、破壊されるリスクを軽減。通信と録画データの再生にはパスワードが必要でセキュリティも確保した。価格は施工費や5年間の保守費などを含めて40万～50万円。ランニングコストは電気料金と電信柱などに設置する共架料だけで済む。

設置カメラには「防犯カメラ作動中」の看板をつけた。「看板に名前を入れる形で防犯カメラの企業スポンサーを募り、民間の力も借りて普及を促したい」と永井社長は意気込む。

## 犯罪抑止と事後対策に焦点／複雑な配線不要